

令和5年度 第2回

まちづくりミーティング

諸江、浅野川、鞍月、栗崎、川北、大浦 校下（地区）

日時 令和5年8月26日（土） 14時00分から
場所 ものづくり会館 2階 研修室

本日は、お忙しい中をご参加いただき、誠にありがとうございます。
進行は次のとおりですので、よろしくお願いいたします。

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 地域代表あいさつ
- 4 進行の説明等
- 5 地域課題について
- 6 共通課題について
- 7 質疑応答、意見交換
- 8 市長まとめ
- 9 閉会

金沢市広報広聴課

TEL 220-2348 FAX 220-2030

提出課題一覧

1 地域課題

番号	地域課題	頁
1	新築マンションの町会費 (諸江地区町会連合会)	P2 P3
2	人口減少対策 (浅野川校下町会連合会)	P4 P8
3	子育てにやさしい環境整備 (鞍月校下町会連合会)	P9 P11
4	歴史を生かすまちづくり (粟崎校下町会連合会)	P12 P13
5	①農業振興地域(調整区域)を維持するために ②調整区域の部分的解除による賑わいの創出 (川北地区町会連合会)	P14 P17
6	災害時における安全な避難施設の確保 (大浦校下町会連合会)	P18 P19

2 共通課題

番号	共通課題	頁
1	北西部地域の交通対策	P20 P23

地域課題 1

町会連合会名	諸江地区町会連合会
地域課題	新築マンションの町会費
現状と課題	新築マンションで町会に加入しないところが多くなりつつあるので、その対応策を教えてください。
地域が考える 対応策・解決策 ／協議したい事項	新築マンションを建てる前の金沢市や町連の対応策

市の方針等説明書（地域課題 1）

地域課題	新築マンションの町会費
協議事項	<p>新築マンションを建てる前の金沢市や町連の対応策 新築マンションで町会に加入しないところが多くなりつつあるので、その対応策を教えてください。</p>
市の方針等	<p>マンション等における町会加入の促進は、 地域コミュニティ活性化の観点から、大切なことであると認識しています。</p> <p>市では、条例に基づき、新たに建築するマンション等の施主に対して町会との連絡窓口となる者を届け出るよう求めるとともに、これらの情報を該当の町会連合会及び町会長様へ提供しています。従って、建設段階において皆様から直接、施主への協議を行うことができます。</p> <p>町会への加入は、入居者の任意ではありますが、災害時の安否確認やマンション敷地周りの除雪、子ども会や老人会など、地域活動に関わることでもあるため、町会連合会及び町会長様におかれましては、引き続き、入居者に対して町会活動等に関する理解の促進に取り組んでいただきますようお願いいたします。</p> <p>また、ご相談があれば市民協働推進課にご連絡いただきますとともに、状況に応じて、市町会連合会が設けている地域コミュニティサポートデスクもご利用ください。</p> <p>皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>
担当課	市民局 市民協働推進課 電話 220-2026

地域課題 2

町会連合会名	浅野川校下町会連合会
地域課題	人口減少対策
現状と課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 少子高齢化の進展により、定住人口の減少が予測されます。そこで定住人口を増やすべく対策が必要であると考えます。 2. また、結婚を望まない男女が増えてきており、ますます人口の減少に拍車がかかっている状況です。 3. もうひとつ、役割を引き受ける人口の減少があります。 個人の選択の自由を盾に、全く社会に関わらない人（公務員に多い）が増殖し、役割や行事を同じ人間で回しており、不満が募る昨今です。 獅子舞、奴行列（保存会に加盟）の伝統の継承に困難をきたしています。
地域が考える 対応策・解決策 ／協議したい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空地・空き家の購入者の募集 （空き家はリフォームの補助金制度） ・ 宅地造成や開発（農地は多いが後継者不足） （北鉄浅野川線で北間駅より金沢駅まで15分の好立地をアピール） ・ 結婚を望むべく意識改革が必要と考えます。 ・ 「地域に感謝、貢献する」という意識改革が必要です。 特に公務員（国家・地方）の方には、公の精神を持って、積極的に地域活動に参加していただきたいです。

市の方針等説明書（地域課題 2-1）

地域課題	人口減少対策
協議事項	空地・空き家の購入者の募集（空き家はリフォームの補助金制度）
市の方針等	<p>本市では、空地や空き家の流通を促すことを目的に、平成22年から「かなざわ空き家活用バンク」を開設するとともに、バンクに登録した空き家に対して、改修費用の補助制度を設けております。</p> <p>バンクの開設からこれまでに、空地で80件、空き家で183件が成約に至っております。</p> <p>空き家については、そのうち51件がリフォームの補助制度を活用しております。</p> <p>今年度は、9月中旬ごろを目途に、バンクの登録件数を増やすために、不動産事業者には登録手続きの簡便化を図り、また、物件をお探しの方には、スマートフォンで手軽に検索や閲覧を可能とするバンクのリニューアルを行う予定です。</p> <p>所有する空地・空き家の賃貸・売買や物件をお探しの場合は、ぜひ「かなざわ空き家活用バンク」をご活用ください。</p>
担当課	都市整備局 建築指導課（空き家バンク） 電話 220-2136 住宅政策課（空き家リフォーム） 電話 220-2333

市の方針等説明書（地域課題 2-2）

地域課題	人口減少対策												
協議事項	宅地造成や開発（農地は多いが後継者不足） （北鉄浅野川線で北間駅より金沢駅まで15分の好立地をアピール）												
市の方針等	<p>当地区は、地区の北側を中心に市街化を抑制する市街化調整区域であるとともに、多くが農業の振興を図る農用地区域に指定されており、その趣旨から、積極的に宅地造成などの開発を促すことは難しいです。</p> <p>ただし、個別・具体的な計画に基づき、農振法に定める5つの要件^{※1}をすべて満たすほか、農地法に基づく農地転用や、都市計画法上の開発許可の見込みがある場合、一定の手続きを行った後、開発することは可能です。</p> <p>開発許可の見込みがある例を下記に示します。</p> <p>【既存集落内及びその隣接地に限定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域とされた時点において既に宅地となっている土地での建築や再開発 ・農家（耕作要件有）の分家住宅 ・既存集落内に10年以上前より生活の本拠地を有する方の住宅 ・日常生活に必要な物品販売・飲食店 <p>【限定なし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有料老人ホーム、社会福祉施設、医療施設 他 <p>※1： i. 当該地の転用等が必要かつ適当であり、他に代替できる土地がないこと ii. 農用地の集団化の阻害及び農業上の効率的・総合的な利用に支障を及ぼさないこと iii. 担い手の農用地の利用集積に支障を及ぼさないこと iv. 土地改良施設の機能に支障を及ぼさないこと v. 土地改良事業等の完了の翌年度から8年を経過していること</p>												
担当課	<table border="0"> <tr> <td>都市整備局</td> <td>建築指導課</td> <td>電話</td> <td>220-2329</td> </tr> <tr> <td></td> <td>都市計画課</td> <td>電話</td> <td>220-2351</td> </tr> <tr> <td>農林水産局</td> <td>農業水産振興課</td> <td>電話</td> <td>220-2213</td> </tr> </table>	都市整備局	建築指導課	電話	220-2329		都市計画課	電話	220-2351	農林水産局	農業水産振興課	電話	220-2213
都市整備局	建築指導課	電話	220-2329										
	都市計画課	電話	220-2351										
農林水産局	農業水産振興課	電話	220-2213										

市の方針等説明書（地域課題 2-3）

地域課題	人口減少対策
協議事項	<p>結婚を望まない男女が増えてきており、ますます人口の減少に拍車がかかっている状況である。 結婚を望むような意識改革が必要と考える。</p>
市の方針等	<p>未婚化、晩婚化のほか、20代女性の県外流出や新型コロナウイルスの影響などで出生数が減少していると認識しています。</p> <p>本市では、これまでも結婚意欲の醸成を図るため、結婚を希望する若者を対象に婚活支援事業を実施しており、本年度は秋と冬の2回、金沢の文化や自然を楽しく体験できるイベントを開催し、男女の交流機会を創ることとしています。</p> <p>また、周辺市町、各種団体などが行う同様の出会いイベントに加え、いしかわ結婚・子育て支援財団が取り組む「縁結びist」や「婚カフェ」、本年3月からスタートした男女のマッチングサービス「いしかわ縁結びマッチング」にも期待しているところです。</p> <p>一方、少子化傾向に歯止めをかけるには、若者・子育て世代の所得向上や正規雇用の確保に努めるとともに、ワーク・ライフ・バランスの促進に取り組み、仕事と家庭の両立を図ることも大切な視点です。</p> <p>さらに、子どもや子育て家庭を社会全体で支える気運を醸成するなど、子ども・子育てにやさしい環境づくりを進め、若い世代が結婚し、家族となり、子どもを産み育てることの喜びを実感できる社会を実現していくことが肝要と考えています。</p> <p>市としては、新たな「かなざわ子育て夢プラン」の検討過程において、これまで以上に、未来を担う若い世代の意見を取り入れながら、市民ニーズに沿ったサービスの拡充や本市独自の施策などについて議論を深め、子どもを産み、育てたいと思えるまち金沢をめざしていきます。</p>
担当課	<p>こども未来局 子育て支援課 電話 220-2285</p>

地域課題 3

町会連合会名	鞍月校下町会連合会
地域課題	子育てにやさしい環境整備
現状と課題	<p>鞍月地区の高齢化率は、16.6%と低く、鞍月小学校の児童数も年々増加している。10年前に建設した鞍月文化会館からもたくさん子ども達で賑わっており、学童保育においても、2年生までしか受け入れできない状況となっている。また、人口からみると保育園、幼稚園の数も少なく、大変な激戦区となっている。小学校においても特別教室が普通教室へと変わり今後の未就学児や放課後児童の居場所が課題となってきている。</p> <p>また、子育て世代が多く住む鞍月校区では、物価高騰化している昨今の現状を鑑みると、医療と放課後教育の面で家計にやさしい子育て環境が必要不可欠となっている。</p>
地域が考える対応策・解決策／協議したい事項	<p>今後は、地区児童館や公民館だけでは対応できない状態になっていく。また湖南エリアの小学校の児童数も年々増えているところから、金沢市直営の児童館など、子ども達が利用できる公共施設を鞍月地区に建設してほしい。</p> <p>また、高齢者にインフルエンザ予防接種助成制度があるように、子育て世代の家計にもやさしい、まちづくりを目指して、医療費助成制度拡充を含めた子育てに優しい環境整備をお願いしたい。</p>

市の方針等説明書（地域課題 3-1）

<p>地域課題</p>	<p>子育てにやさしい環境整備</p>
<p>協議事項</p>	<p>鞍月小学校の児童数が年々増加していることから、鞍月文化会館からもたくさん子ども達で賑わい、学童保育においても、2年生までしか受け入れできない状況となっており、放課後児童の居場所が課題となってきている。</p> <p>今後は、地区児童館や公民館だけでは対応できない状態になっていくことから、金沢市直結の児童館を鞍月地区に建設してほしい。</p>
<p>市の方針等</p>	<p>市が唯一直営で運営している城北児童会館は、基幹児童館として金沢市児童館連絡協議会の事務局機能を備え、児童の健全育成を図るため、市内に32箇所ある地区児童館を支援・指導する役割を担っていることから、このような直営の児童館を新たに整備することは考えていません。</p> <p>なお、今回のご提案は、児童数が増加している鞍月地区において放課後児童クラブを充実させてほしいという思いもあると推察しますが、本市の放課後児童クラブは、これまでも地区の社会福祉協議会や児童館振興協力会など地域団体のご協力をいただきながら整備を進めてきました。</p> <p>鞍月児童館で実施する放課後児童クラブでは小学校3年生まで児童を受け入れているものの、定員があることから、1、2年生を優先とせざるを得ない実情もあると聞いています。市としては、施設の新増設等に対する支援制度や家賃助成の活用を促しながら、地域とともに待機児童の解消などの課題解決に取り組むこととしており、鞍月地区においても協議しているところです。</p>
<p>担当課</p>	<p>こども未来局 子育て支援課 電話 220-2285</p>

市の方針等説明書（地域課題 3-2）

地域課題	子育てにやさしい環境整備
協議事項	<p>高齢者にインフルエンザ予防接種助成制度があるように、子育て世代の家計にもやさしい、まちづくりを目指して、医療費助成制度拡充を含めた子育てに優しい環境整備をお願いしたい。</p>
市の方針等	<p>子どもの医療費に対する助成については、少子化対策として、国において抜本的な見直しとその支援が行われるべきと考えていますが、本市では、これまで順次、対象年齢等の拡大を行ってきており、今年度の10月から入院分について18歳まで拡大し、自己負担を無料にすることとしています。</p> <p>また、乳幼児期のインフルエンザ等の任意予防接種費に対する助成については、今年度の4月から上限額を1回あたり千円から2千円に引き上げたところです。</p> <p>子どもの医療費や予防接種に対する助成以外にも、子育てに優しい環境の整備には、福祉や保健、教育から文化、スポーツまで多様な施策があり、一生懸命取り組んでいることをご理解ください。</p>
担当課	<p>福祉健康局 健康政策課 電話 220-2233</p>

地域課題 4

町会連合会名	栗崎校下町会連合会
地域課題	歴史を生かすまちづくり
現状と課題	<p>栗崎地区の歴史・文化を基盤とする地域おこし</p> <p>「御旅屋の森」の整備： 江戸時代にあっては加賀藩と栗崎地区とは密接なつながりがあった。それを象徴するものが、5代藩主綱紀によって立てられた「御旅屋」といえる。現在は栗崎小学校の裏山となっている高台にあった。</p>
地域が考える 対応策・解決策 ／協議したい事項	<p>この「御旅屋の森」の周辺について、例えば多くの人に親しまれるような散策路を整備する、等の事業を考えていただきたい。 観光資源としても貢献できる。</p>

市の方針等説明書（地域課題 4）

地域課題	歴史を生かすまちづくり
協議事項	<p>「御旅屋の森」の周辺について、例えば多くの人に親しまれるような散策路を整備する等の事業を考えていただきたい。観光資源としても貢献できる。</p>
市の方針等	<p>栗崎の御旅屋（おたや）は、寛文10年（1670）に前田家5代綱紀が鷹狩時の休息所として整備したものであり、当時は楓やマユミなどの名木が植えられた庭園もあったとされています。</p> <p>また、御旅屋背後の松林は「御旅屋の松」と呼ばれ、海上からの目印としての役割も果たすなど、栗崎地区の歴史を物語る遺構であると認識しております。</p> <p>市では、地域の方々に愛されており、今後も受け継いでいくべきと考える歴史文化遺産を、地域の推薦に基づき「地域のお宝」として認定し、その保存・活用のための活動に対して支援を行なうという取り組みを昨年度から実施しています。</p> <p>栗崎地区における「御旅屋の森」は、まさにこの対象となり得るものであり、市としても地域の皆さんと魅力の周知・発信に力を合わせたいと考えています。</p> <p>また散策路等のハード整備については、当該地が学校敷地でもあり、防犯上の配慮が必要で慎重に進める必要があることから、まずはこの歴史の遺構を多くの方に知ってもらうためのソフト事業を優先して皆さんとともに取組みたいと考えています。</p>
担当課	文化スポーツ局 文化財保護課 電話 220-2469

地域課題 5

町会連合会名	川北地区町会連合会
地域課題	<p>①農業振興地域(調整区域)を維持するために</p> <p>②調整区域の部分的解除による賑わいの創出</p>
現状と課題	<p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業だけでは、生活していくだけの収入を得られない。 ・耕地を荒らさない様に維持をしている。 ・営農組合がある所は何とか農地を維持しているが高齢化が進んでいる。 ・調整区域であるがために、新規町会加入者がいない。10年後には高齢化が進んで町会が衰退化していく事に懸念を感じる。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業就労人口の衰退化により荒廃地が多くなるのではないか。 ・稲作収入だけで生計は成り立たない為、農業の多様化やブランド化をする必要があるのではないか？ ・スマート農業で人員削減をして新たな機器購入に投資するとお金が掛かりブランド化をしない限り採算が合わないのではないか？ ・調整区域の一部解除によりスーパーや、コンビニ、飲食店等ができ賑わいができる環境が欲しい。
地域が考える対応策・解決策／協議したい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・この地域で豊かな優良農地を持続可能にしていくなら、市とJA、地元農業従事者との意見交換の場を設け時間をかけて協議する必要があるのではないだろうか。 ・10月にオープンする金沢スタジアムの運営において、近隣地域は調整区域であり観客のサービス等の施設がありません。つきましては、沿道サービスの充実を図るためにも沿道沿いの調整区域を一部解除の願いをし、コンビニ、飲食店等が出店でき賑わいのある環境ができればと思います。 ・地域全体では、今後高齢化が進み買い物難民が増加する事が懸念されそのためスーパーやコンビニ等が必要であり、交通手段も現状の支援バスの運行を増やして行く為には、市の助成が不可欠でありその予算を増額して欲しい。

市の方針等説明書（地域課題 5-1）

地域課題	①農業振興地域(調整区域)を維持するために
協議事項	<p>この地域で豊かな優良農地を持続可能にしていくなら、市とJA、地元農業従事者との意見交換の場を設け時間をかけて協議する必要があるのではないだろうか。</p>
市の方針等	<p>地域の優良農地の活用による持続可能な農業を維持するためには、農地の大区画化、農作業や機械の共同化などを進めていく必要があり、将来の姿について、地元農業者と県、市、JA等の関係機関が協議を行っていくことが大切であると考えています。</p> <p>これまでに、地域農業の将来像を描く「人・農地プラン」の作成にあたり地元農業者、市、JAや農業委員等で話し合いを行ってきたところですが、今後、「人・農地プラン」に替わる新たな「地域計画」を作成することとしており、その中で必要に応じて地域の関係者と協議をしたいと考えています。</p> <p>地域における具体的な課題等があれば、ご相談願いたい。</p>
担当課	<p>農林水産局 農業水産振興課 電話 220-2213</p>

市の方針等説明書（地域課題 5-2）

地域課題	②調整区域の部分的解除による賑わいの創出																
協議事項	<p>10月にオープンする金沢スタジアムの運営において、近隣地域は調整区域であり観客のサービス等の施設がありません。つきましては、沿道サービスの充実を図るためにも沿道沿いの調整区域を一部解除のお願いをし、コンビニ、飲食店等が出店でき賑わいのある環境ができればと思います。</p>																
市の方針等	<p>城北市民運動公園西側道路に隣接する区域は、市街化を抑制する市街化調整区域であるとともに、多くが農業の振興を図る農用地区域に指定され、規制の緩和は難しいことから、沿道サービス施設については、東側にある東山・内灘線沿いでの立地を考えています。</p> <p>なお、金沢スタジアムの完成を見据え、公園内でのキッチンカーによる販売の許可など、公園利用者の利便性向上にむけて検討しているところです。</p>																
担当課	<table border="0"> <tr> <td>都市整備局</td> <td>都市計画課</td> <td>電話</td> <td>220-2351</td> </tr> <tr> <td></td> <td>建築指導課</td> <td>電話</td> <td>220-2329</td> </tr> <tr> <td></td> <td>緑と花の課</td> <td>電話</td> <td>220-2356</td> </tr> <tr> <td>農林水産局</td> <td>農業水産振興課</td> <td>電話</td> <td>220-2213</td> </tr> </table>	都市整備局	都市計画課	電話	220-2351		建築指導課	電話	220-2329		緑と花の課	電話	220-2356	農林水産局	農業水産振興課	電話	220-2213
都市整備局	都市計画課	電話	220-2351														
	建築指導課	電話	220-2329														
	緑と花の課	電話	220-2356														
農林水産局	農業水産振興課	電話	220-2213														

市の方針等説明書（地域課題 5-3）

地域課題	②調整区域の部分的解除による賑わいの創出
協議事項	<p>今後高齢化が進み買い物難民が増加する事が懸念され、そのためスーパーやコンビニ等が必要であり、交通手段も、現状の支援バスの運行を増やして行く為には、市の助成が不可欠であり、その予算を増額して欲しい。</p>
市の方針等	<p>川北地区、大浦地区が共同で運行している地域運営交通「おおらっこ・かわきた号」は、本市の地域運営交通導入の第1号として、平成26年度より本格運行を開始し、今年で10年目を迎えます。運行委員会をはじめとする地元の皆様のご努力に深く敬意を表します。</p> <p>今回要望のあった予算の増額につきましては、増便、あるいはルートの変更など、具体的な計画変更の内容をご提示いただければ、地域運営交通支援制度の中で、追加の支援ができないか検討させていただきます。</p> <p>地域運営交通「おおらっこ・かわきた号」が、今後も、川北・大浦地区の地域の足として多くの方々に利用いただけるよう、市としてもしっかりとフォローアップをしてまいります。</p>
担当課	<p>都市政策局 交通政策課 電話 220-2038</p>

地域課題 6

町会連合会名	大浦校下町会連合会
地域課題	災害時における安全な避難施設の確保
現状と課題	<p>大浦校下の災害対策として避難所の設置に課題があります。</p> <p>大浦校下は、広範なエリアを要し、特に大浦町会及び東蚊爪町会 は、大宮川の溢水、浅野川・金腐川の堤防浸食や決壊による水害の リスクが非常に高い地域であります。</p> <p>しかも、その地域に指定避難所の小学校と公民館がありますが、 水害時には小学校と公民館への避難は適切とは言えません。</p>
地域が考える 対応策・解決策 ／協議したい事 項	<p>また、高齢化が更に進むことを踏まえ、避難所である小学校や公 民館まで距離のあるみずき町会、木越団地町会、及び木越町会にお いては、避難所への避難は危険を伴うので、より近い場所での避難 所の設置を強く要望します。</p>

市の方針等説明書（地域課題 6）

<p>地域課題</p>	<p>災害時における安全な避難施設の確保</p>
<p>協議事項</p>	<p>大浦校下は避難所の設置に課題があり、特に水害時における指定避難所への避難は適切と言えない。 今後の高齢化を踏まえ、避難所から離れたみずき町会、木越団地町会及び木越町会においては、避難所への避難は危険を伴うため、より近い場所に避難所を設置するよう要望する。</p>
<p>市の方針等</p>	<p>本市では、各地区内にある既存の公共施設等を調査・確認のうえ、避難所を指定しています。水害のリスクが高い地区において、浸水が想定される施設については、浸水のおそれがない2階以上を避難所として指定しています。</p> <p>大浦地区内においては、大浦小学校・大浦公民館のほかには、避難所の指定に適する公共施設がないことから、大雨時には住民の方々が早期に避難行動を開始できるよう、適時・適切に避難情報を発令するなど、避難される方々の安全に十分配慮します。</p> <p>なお、安全が確認できれば、在宅避難も選択肢であること、また、安全な地域の親戚・知人宅、その他施設等への避難が有効であることなど、適切な避難行動について、あらゆる機会を通じて周知してまいります。</p>
<p>担当課</p>	<p>危機管理監 危機管理課 電話 220-2366</p>

共通課題

共通課題	北西部地域の交通対策
現状と課題	<ol style="list-style-type: none">1. 金沢城北市民運動公園内の金沢スタジアム完成後の交通アクセスについて<ul style="list-style-type: none">・大きなイベント時に渋滞が予測されるが、渋滞対策は？2. 第3次金沢交通戦略（Mobility Hub）について<ul style="list-style-type: none">・金沢港をHubにする構想は？・金沢港に隣接する地域住民の利便性を高める対策は？・縦のラインだけではなく、横のラインの構築により利便性を高める必要があるのでは？
地域が考える対応策・解決策／協議したい事項	北陸鉄道以外の民間企業を活用し、地域住民が移動手段として活用できる方法を模索する

市の方針等説明書（共通課題－１）

地域課題	北西部地域の交通対策		
協議事項	<p>1. 金沢城北市民運動公園内の金沢スタジアム完成後の交通アクセスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きなイベント時に渋滞が予測されるが、渋滞対策は？ 		
市の方針等	<p>1. 令和２年度に公園周辺道路の渋滞予測の検証を行っており、駐車場へアクセスする車によって、沖町交差点での交通渋滞が予測されることから、右折専用レーンを新たに設ける工事を施工しているところです。</p> <p>2. また、公共交通利用に向けた利便性向上の対策として、現在、整備中の駐車場には、一般車のほか、バス１４台、タクシー２０台の待機所の設置を予定しています。</p> <p>多くの来場者が想定されるＪリーグ公式戦などのイベント開催時には、今年度、選定される指定管理者と大会主催者との打ち合わせ段階から、来場や送迎等によるスタジアム周辺の混雑を緩和するため、公共交通の利用促進策を講じるよう協議することとしています。</p> <p>このように、大会主催者に対して、シャトルバス運行の要請や、来場に際しての公共交通利用を促す広報など、指定管理者や大会主催者と協力しながら、対策を図っていきます。</p>		
担当課	文化スポーツ局	スポーツ振興課	電話 ２２０－２４４３
	都市整備局	緑と花の課	電話 ２２０－２３５６
	都市政策局	交通政策課	電話 ２２０－２０３８

市の方針等説明書（共通課題－２）

地域課題	北西部地域の交通対策
協議事項	<p>２．第３次金沢交通戦略（Mobility Hub）について</p> <p>①金沢港をHubにする構想は？</p>
市の方針等	<p>第３次金沢交通戦略では、様々な移動手段が相互に乗換えしやすい交通結節点である「モビリティハブ」を各方面に整備する方針を掲げており、まちなかや公共交通重要路線沿線を中心に、鉄道駅やバス停、パーク・アンド・ライド駐車場、駐輪場などを地域の実情に応じて、組み合わせて配置したいと考えています。</p> <p>現在、導入箇所・方法の検討を行っているところであり、現時点で、導入箇所などを具体的にお示しできる状況にはありませんが、今回のご要望も踏まえ、今後の検討を進めてまいります。</p>
担当課	都市政策局 交通政策課 電話 ２２０－２０３８

市の方針等説明書（共通課題－３）

地域課題	北西部地域の交通対策
協議事項	<p>2. 第3次金沢交通戦略（Mobility Hub）について</p> <p>②金沢港に隣接する地域住民の利便性を高める対策は？</p> <p>③縦のラインだけではなく、横のラインの構築により利便性を高める必要があるのでは？</p>
市の方針等	<p>第3次交通戦略では、郊外は、自家用車と公共交通を組み合わせながら、地域の特性に応じた交通環境の整備を進め、移動手段の確保とともに、過度に自家用車に依存せず外出しやすいまちづくりを目指すこととしています。</p> <p>金沢港に隣接する地域の利便性を高めるため、主要なバス路線である金石線、中央病院線、錦町栗ヶ崎線などと横のラインで接続させる交通環境を求める声があることは承知しています。</p> <p>しかしながら、民間交通事業者によるバス路線の開設は、運転士の不足や採算性の課題もあることから、現状では、なかなか実現は難しい状況です。</p> <p>一方、市では、地域の皆様が主体となって自らの地域交通をつくる地域運営交通支援制度を設けています。</p> <p>導入に向けた地域での勉強会の開催や、地域ニーズの把握、運行計画の作成から本格運行まで、導入をサポートする体制としていますので、まずは、地域運営交通支援制度の内容について、ご説明させていただき、こういった活用が見込まれるのか相談させて頂きたいと考えています。</p>
担当課	都市政策局 交通政策課 電話 220-2038